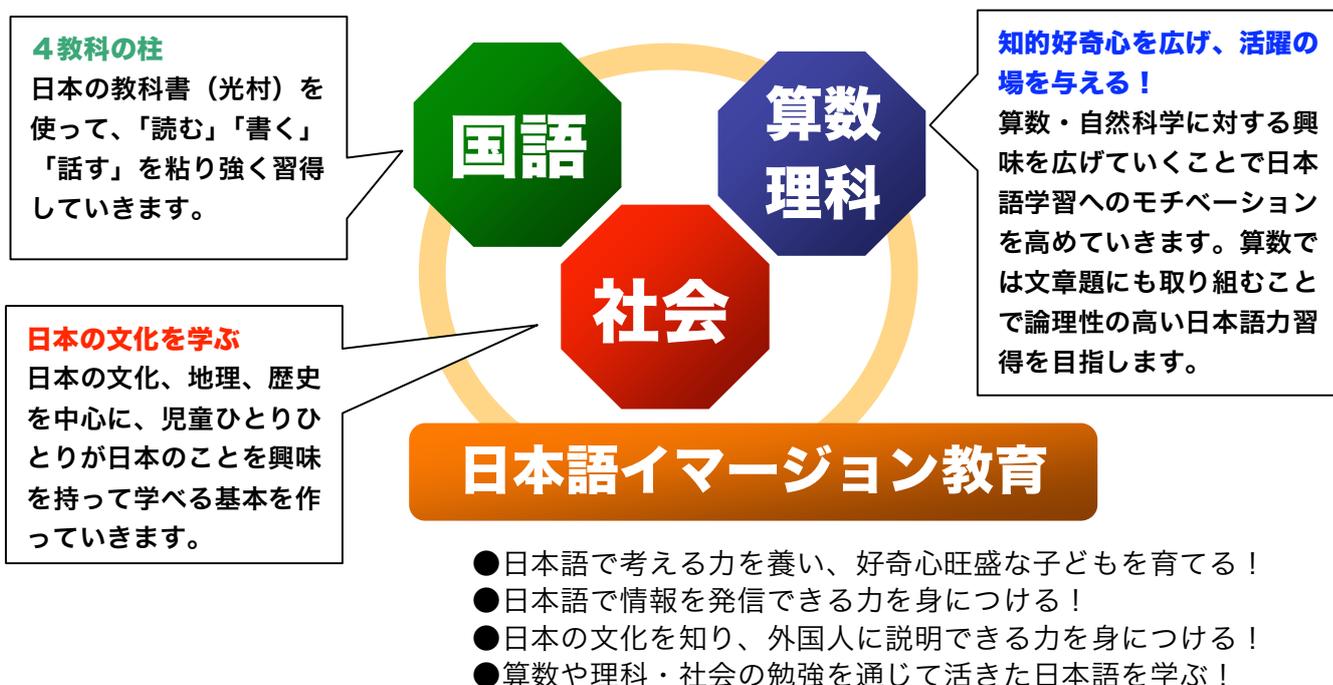


インターナショナルスクール・現地校に通学する子どもたちのための

香港日本人補習授業校 授業内容概要

講座の特徴

1. 日本語イマージョン教育としての4科目構成



例えば…七夕の頃には

国語では…

七夕の行事と、それに関する物語を味わう。

社会では…

仙台や平塚の七夕祭や東北三大祭を調べる。

理科では…

ベガ（織女）やアルタイル（牽牛）を学習。

2. 授業で重視する4つのポイント

(1) 体験する

体験によって得られた知識は聞いただけの知識よりはるかに定着がよく、いろいろなことに応用することができます。低学年の学習指導においては、本質的な理解に直結する体験を積んでもらいます。

(2) 作ってみる

得た知識を使って、自分でものを作ってみる。体験が知識に直結する子どもたちにとってこれ以上いい学習材料はありません。低学年の学習指導において最も必要なトライアル&エラー（試行錯誤）を、子どもたちに体験してもらいます。

(3) 自分で調べる

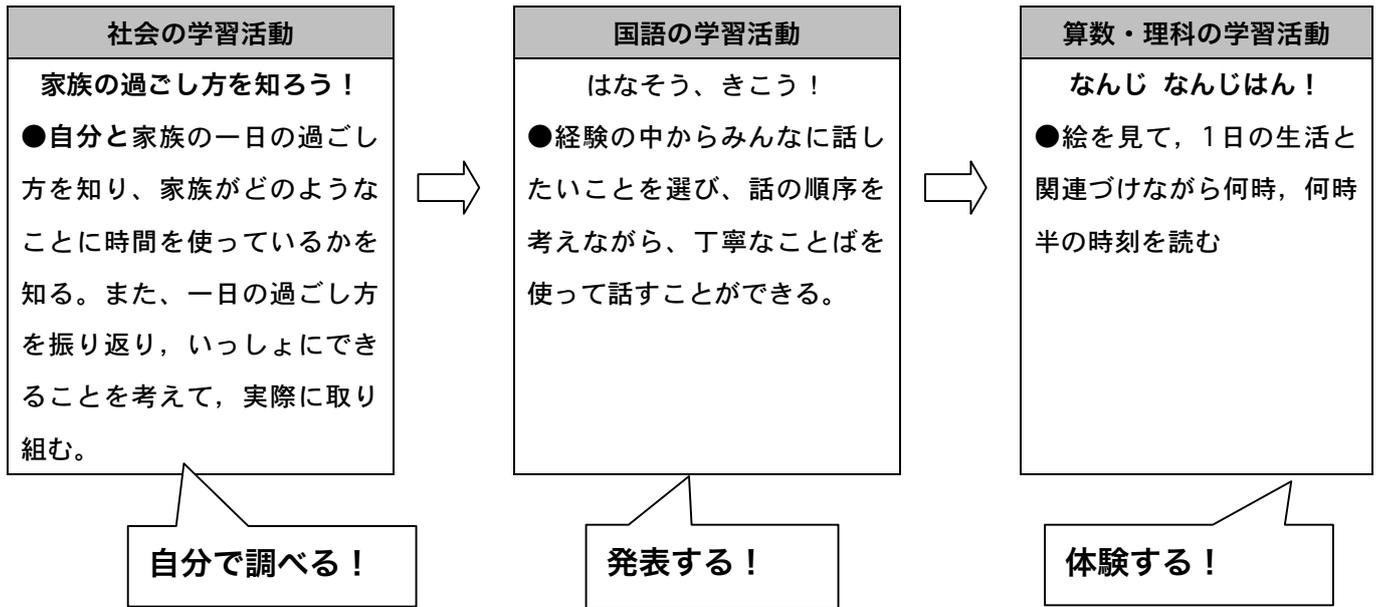
ただ知らないことを調べるだけの調べ学習では本当に必要な能力は身に付きません。必要な情報は何かを子供たちが自ら発見し、必要な情報を自ら収集し、まとめる力が子どもたちにとっては必要です。手取り足取り教えることではなく、自ら進んで調べることを子どもたちに学んでもらいます。

(4) 発表する

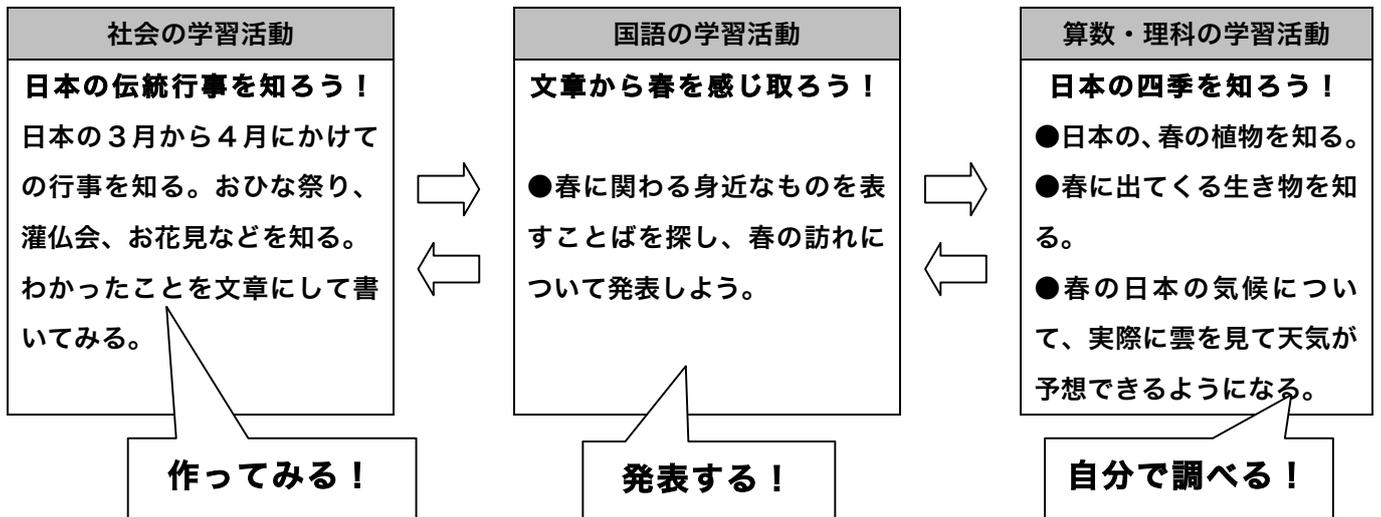
インターナショナルスクールや現地校に通っていると、必然的に日本語を使う機会が減少します。日本人の母親、または父親や限られた日本人の友人との会話だけでは時と場所、場合に合った話し方は身に付きません。「日本語で」調べ、考えて、発表することは子どもに緊張感を持たせ、達成感を与える良い機会となるはずです。



【第1学年 1週の授業内容一例】



【第2学年 1週の授業内容一例】



【第3学年 1週の授業内容一例】

